

## 目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 木造四面女神像、木造隨身像
- 4 特集 2050年カーボンニュートラルシティ実現に向けたロードマップを策定しました
- 6 世界文化遺産 富士山の麓
- 8 市民の安心・安全を守るため一緒に働きませんか
- 9 大雨による土砂災害に備える
- 10 映画「濁水」6月2日(金)全国劇場公開
- 11 静岡朝日テレビのdボタンの運用がスタート
- 12 令和5年度市民税・県民税
- 13 市民無料相談を毎月開催 不発弾事故を防ぐために
- 14 子ども家庭総合支援拠点の愛称決定 コーフボールジャパンオープン2023 in 富士山裾野開催
- 15 令和6年市政カレンダー掲載写真募集 木造住宅耐震化プロジェクトTOUKAI【東海・倒壊】-0
- 16 フォトグラフ
- 18 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子・市長戦略最前線

## 表紙 Front cover



### ミステリアスな木造四面女神像

平安時代中期までは富士山の火山活動が活発な時期でした。そのような時代を経て平安時代後期に作られたこの像には、当時の人々のどのような思いが込められているのでしょうか。



## 茶畑浅間神社 氏子総代会会長

伊東 <sup>ともよし</sup> 奉嘉さん (天理町・70歳)

茶畑浅間神社は、お祭りや子ども相撲が開催されるなど、昔から地域の人に親しまれてきた神社です。この茶畑浅間神社が保管していた木造四面女神像と木造隨身像が、市の有形文化財に指定されました。「像は地元で知られた存在というわけではなく、長らく社務所の棚の中に置かれていました。何となく像があるなという認識でいました。県外の学者から像を確認



したいと連絡があったこともあります。下田にある上原美術館に展示されるようになった頃から像に関する動きが出てきたように感じます」と氏子総代の伊東さんは話します。

「像のことを寺院では仏像、神社では神像と呼びます。平安時代に作られた像が茶畑浅間神社に残っていたことを感謝しています。山梨県には国の重要文化財になっている木造浅間神像がありますが、静岡県にも女神像があるということで誇らしく思います。市指定文化財になったことで、温度管理など適切に行われるようになることは望ましいことだと思います。像の管理は地元から離れますが、いつでも身近に感じられるような場所に展示してもらえると嬉しいです」と伊東さんは今後に期待を込めました。



susonobito No.49